

# 花田っ子きらきら通信

姫路市立花田小学校  
文責 校長 内海 行之

## 安全な毎日であるために大切なことの一つ

2日水曜日、3年生児童を対象にした自転車教室をひらきました。ご多用の中、早朝よりご指導いただいた姫路警察署・姫路市危機管理室・花田校区交通安全協会の皆様方、そしてご協力いただいた保護者の皆様方、ありがとうございました。



まずは多目的教室での一斉指導。ユーモアも交え、大切なことを教えていただきました。私も引き込まれ聞いていました。一番よく覚えているのは、「ブタはしゃベル」です。何のことかおわかりでしょうか。実は自転車に乗る前の点検作業のポイントを表しているのです。「ブ」はブレーキ、「タ」はタイヤを表しています。ここまでは簡単なのですが、「は」は何だと思われませんか？思わず「ハンドル」と言いそうですが、違います。答えは「反射板」です。「しゃ」は車体（これも難しい）、「ベル」はベル（これは易しい）です。このような自転車に乗る前にしなければならないことを教わったり、他には乗り方や運転の仕方

方、止まり方について説明したりしていただきました。

その後は外での実践練習。頭で学んだことが実際にできるかどうか、試してみました。どの顔も真剣な表情でした。正しい乗り方を身に付けようと、教わった走行の仕方を繰り返し練習していました。

自転車は私たちにとって便利な交通手段ですが、危険を伴う乗り物であることもまた事実です。それだけに正しいルールを身に付けなければなりません。調べてみますと、平成27年中の人対自転車の交通事故187件のうち、歩道上での衝突が85件で、半数近くが歩道上での衝突事故です。昨年度の学校通信(第12号)でもお知らせしていますように、自転車による事故でケガを負わせてしまった場合、大変重い責任が保護者にかかってくるといった事案も発生しています。また、一つ間違えると自分の命に関わる重大な事故に巻き込まれることもあります。自転車教室で学んだことを是非、毎日の生活の中で生かしてくれることを願っています。なお、まだ自転車保険に未加入の方がおられましたら、この機会に是非お入りください。

## シンチャオ・ムーラン



10月30日(日)、大手前公園で「第21回ひめじ国際交流フェスティバル」が開催されました。今年も世界各国の料理の販売をはじめ、踊りや音楽の披露、外国講座など多彩な内容で盛り上がりました。本校のベトナム人児童6名も、東小、城東小と合同のチームを作り、ムーラン(ベトナムの獅子舞)を披露しました。

ムーランを覚え、演じることは、ベトナムの子どもたちにとって、とても大切な意味があります。それは、日本人がオリンピックの日の丸を見たり、童謡「ふるさと」を歌ったりして、自分が日本人であることを再確認するのと同じで、自分たちの

ベトナム人としてのアイデンティティを高めることにつながるからです。(※掲載写真は先月21日、校内で披露したときのものです。)

## お詫びと訂正

前号の花田っ子祭りの店紹介において、6年2組に1店の漏れがありました。お詫びし、追記します。

・クイズ! 絵あわせたとき